

# 番組「すたあと おとにあわせてうごいてみよう」を活用した本時案

埼玉県戸田市教育委員会 若村 健一

月  
日

## 活動名 おとにあわせてうごいてみよう

活動のねらい 様々な音を聞いて、その音に合わせて体を動かして遊ぶ楽しさを味わうことができるようにする。

## 本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 番組を視聴する。 「おとにあわせてうごいてみよう」	○開始前に「すたあとの歌」の踊り方クリップを見て、楽しく始められる雰囲気作りを行う。
10	2. 番組の中で出てきた音を基に、どのように動くか確認する。	○番組の2分55秒付近の音（※クリップ参照）を流して、どのような動きができるか実際にやってみる。 （※クリップ「おとにあわせてからだをうごかさう」で先生の演奏のみを聞くことができます） ○それぞれが音から感じたことを実際に動きで表してみる。 一人一人の捉え方を尊重し、感じ取った音を基に自由に動くことができるようにする。 ○周囲の友達とぶつからないように注意しながら動くように伝えておく。 ○どうしてそのような動きをしたのか確認しながら進めていくようにする。
15	3. すたあ先生が最後の問いかけで出した音を聞いて、どのような動きができるか考え、体を動かす。	○番組の4分40秒～最後までを視聴し、聞こえた音からどのような動きができるか、実際に動きながら考えてみる。 ○音は常に流しておくようにして、音に合わせて動きを考えることができるようにする。 （※クリップ「おとにあわせてからだをうごかさう」） ○面白い動きをしている児童がいればその動きを取り上げ、どうしてそのような動きをしたのか聞き、全体でその面白さを共有することができるように。
5	4. 活動を振り返る。	○「音に合わせて体を動かしてみてどうだったか」と投げかけ、楽しかったことや感じたことなど、自由に子供たちの反応を取り上げていく。

### ★番組活用の別案

- ・活動2において、教師が実際に鍵盤ハーモニカで音を出してその音を基にどんな動きができるか考える活動にしても面白いでしょう。また、様々な鍵盤楽器を使用して音の違いからどのような動きの違いが出てくるか考えるのも面白いでしょう。
- ・活動3において、3～4人でグループを作って、聞こえた音を基にどのような動きができるか考えて友達と一緒に動く活動にするのもよいでしょう。

### 新型コロナウイルス感染症対策で配慮すること

- ・活動を行う際には、マスクを着用して行うようにしましょう。
- ・体を動かす際には、隣の人との間隔が保てるように広めの教室で活動ができるようにしましょう。音楽室などで活動ができると、音楽に対する関心をもちやすくなるでしょう。



NHK

Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation). All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。